

在宅取組型(小学校)

学校名等	高山市立国府小学校
実施日時	令和2年10月10日(土)~10月23日(金)
会場	各家庭
参加人数	405名
学習課題(分野)	自立心
運営者の願い	テーマ やってみよう!やらせてみよう!家の仕事 家族の一員として家の仕事をする体験を通し、わが子に「自立への第一歩」につながる「自分は役に立っている」「自分は必要とされている」という自己有用感や自己肯定感を育みたい。

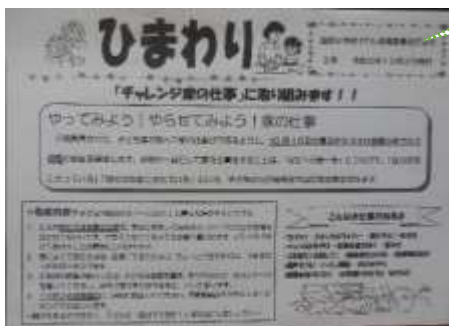
学習の内容

<活動の流れ>

- ① 10月:母親だよりにて取組の紹介と実践カードの配布
- ② 10月:各家庭における取組実施
- ③ 10月:実践カードの提出
- ④ 11月:母親委員会による見届け
- ⑤ 12月:母親だよりにまとめ

お手伝いの声かけの例

- ・「~してくれると助かるな」
- ・「ありがとう」「助かったよ」「嬉しいよ」



続ける家の仕事

玄関そうじ・くつそろえ

続ける力・くふうの力 がまんの力 (3年生)

<わが子> ぜんぶ二重丸だったので、よかったです。

<保護者> すごく一生懸命やってくれました。玄関をふつうに掃いた後は水でゴシゴシとこすってくれ、くつをそろえた後は一足一足に消臭スプレーもしてくれて、成長が見えた気がしてとても嬉しかったです。

<母親委員> 毎日のお仕事よくがんばりました!これからもお家の人を助けてあげてね!

<保護者の感想>

○部屋の片づけがとてもきれいにできていて助かりました。廊下も毎日きれいでとても気持ち良かったです。これからも続けてほしいです。(1年生)

○4年生からずっと風呂掃除を担当してくれて、夕方の忙しい時期に手伝ってくれることがとても助かっています。これからも宜しくお願いします。(4年生)

○どんな小さなことでも、これからもお手伝いを続けてくれたら、本当にお母さんは助かります。これからも気持ちの良いお手伝いを宜しくお願いします。ありがとう。(6年生)

<母親委員会の一言>

○すばらしい!!お風呂掃除は大変な仕事だと思います。

○お米洗いをがんばってできたね。これからもいろいろやってみてね。



母親委員会のわが子が「家族の一員」として成長することに対する強い思い

・家族の大切な一員であることをより意識できるように、タイトルを「お手伝い」から「家の仕事」へと変えて取り組みました。

・2週間の取組期間には、1週目の反省を2週目に活かすことができるような工夫がありました。

・毎年の継続した取組が「家のお仕事」に対する意欲や内容を高めています。

母親委員による

丁寧な取組の見届け

・委員1人当たり約40名の実践カードを見届け、コメントを添える活動が、PTA全体で各家庭の子育てを見守る体制をつくっています。

「わが家の約束」

運動の取組

・全家庭で、わが子の「自立への第一歩」に向け、「約束づくり」「親子の会話」「カードに記録」の3つを大切に、自立心を高める取組を進めています。